第21回子どもたちと川へ、親子で遊ぶ仁淀川

令和６年７月28日（日）に越知町宮の前公園で、「第21回子どもたちと川へ、親子で遊ぶ仁淀川（川流れ体験、生きもの調べ、あまごつかみ取り、鮎の放流）」が行われました。

川流れ体験の先生は、大下先生が担当。最初に川で遊ぶ際の注意事項やライフジャケットの効果、着用方法等を参加者へ説明。足から徐々に川の水温に体を慣れるようにして入水。子どもたちは、流れながら進みたい方向に進むための体の動かし方などを学び、川の様子を実際に感じながら安全かつ楽しく川流れを体験するとともにライフジャケットの重要性を再確認しました。

生きもの調べの先生は、石川先生が担当。川の石には苔が生え、滑りやすいなどの注意事項を説明するとともに、どういうところに水生生物がいるのかを解説していました。その後みんなで採集した水生生物を、その水生生物が川のきれいな所に住んでいるのかを見分ける表（スコア表）をもとに分析したところ、川のきれいなところに住む生物が多数見られたことから「きれい」と判定できました。

お昼ご飯の時間には鮎の塩焼きが配られ、大人も子どももかぶりついて美味しくいただきました。

あまごつかみ取りでは、プールに放流されたたくさんのあまごを捕まえようと子どもたちが夢中で追いかけました。やっと捕まえたと思ってもヌルヌルと逃げるあまごに苦戦しながらも子どもたちの目は輝いていました。

最後は、仁淀川漁協の協力で鮎の放流を行いました。バケツに入れられた鮎は活きが良すぎてバケツから飛び出ることもありましたが、子どもたちの協力もあり元気に仁淀川を泳いでいきました。